

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成30年5月24日発行
第154号

あじがさわ

発行…青森県鰹ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰹ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



新一年生 45人が小学校生活をスタート

4月7日、町内小学校の入学式が行われ、西海小学校へ16人、舞戸小学校へ29人の子どもたちが仲間入りしました。(写真は舞戸小学校)

3月
定例会号

30年度スタート 新年度の予算・主な取り組み	2～3
第1回定例会・第1回臨時会	4～5
一般質問 (町民・町職員15人が傍聴)	6
議員報酬額を改正 (賛否討論)	7
特集 ～まち再発見～ (鰹ヶ沢町に戻ってきて)	8

に向けて 新年度スタート

学校施設・生活環境を整備 30年度の主な取り組み

□元気な浜づくり推進事業費助成金 281万円

ナマコ、アワビ等の種
苗放流を継続し、その
効果を検証。また、サ
クについては親魚の卵
を購入し、回帰率向上
に向けた取り組みが実
施されます。



アワビの種苗放流
(各漁協へ放流事業費を助成)

平成30年度の一般
会計当初予算は、予
算特別委員会の審査
を経て、本会議にお
いて全会一致で可決
されました。
このページでは、
予算審議で議論され
た事業や新年度の主
な取り組みについて
お知らせします。
(※表示金額は予算
額のため、実際の事
業額とは異なる場合
もあります)

□舞戸小学校トイレ洋式化 1089万円

女子トイレと男子大便
器、体育館トイレ合わ
せて37基の洋式化及び
洋式便器を更新。



避難場所に指定されているため、洋式化により災害時町
民が体育館トイレを利用する際の衛生面も改善されます。

□新庁舎建設設計業務委託 6400万円

□旧鱈ヶ沢第一中学校校舎解体（設計監理含む）

9712万円

新庁舎建設予定地にあ
る旧鱈一中校舎（写真）
は再利用が難しい場合、
校舎全体が解体されま
す。



□地域学校協働活動推進員（コーディネーター） 設置 188万円

学校と地域をつなぐ推進員
が小・中学校各校に1人ず
つ3人が配置されます。



推進員は、学校が必要とする活動（例・クラブ活動）等
を補助するボランティア団体との連絡調整を行います。

□橋梁点検業務委託（53橋を点検） 3000万円

□橋梁補修事業

1億1000万円

昭和47年に架設された
梨中橋（写真）ほか、
橋の改修工事をします。
梨中橋の改修は今年度
の上部工整備をもって
完了となります。



□外国語指導助手（ALT） 配置 1379万円

8月よりALT2人から3人
に増員。小・中学校各校へ1
人ずつ配置されます。



平成30年度より、町小学校では3・4学年で外国語活動
が始まります。5・6学年は教科型として実施されます。

□町営相撲場改修

293万円

県内の各大会で利用さ
れている相撲場の屋根
を修繕。（屋根の鉄骨一
部を撤去、大柱のサビ
取り及び塗装が行われ
ます）



□ごみ収集車購入（1台） 1626万円

ごみ収集車（パッカー車）1台
を購入。当町ではパッカー車4
台、トラック1台を稼働し、ごみの収集運搬（委託）が行われ
ています。（写真は更新前車両）
ごみ排出量は年々減少しているものの、平成28年度リサ
イクル率は県内下位です。



□鱈ヶ沢消防署

消防ポンプ車

更新 7933万円

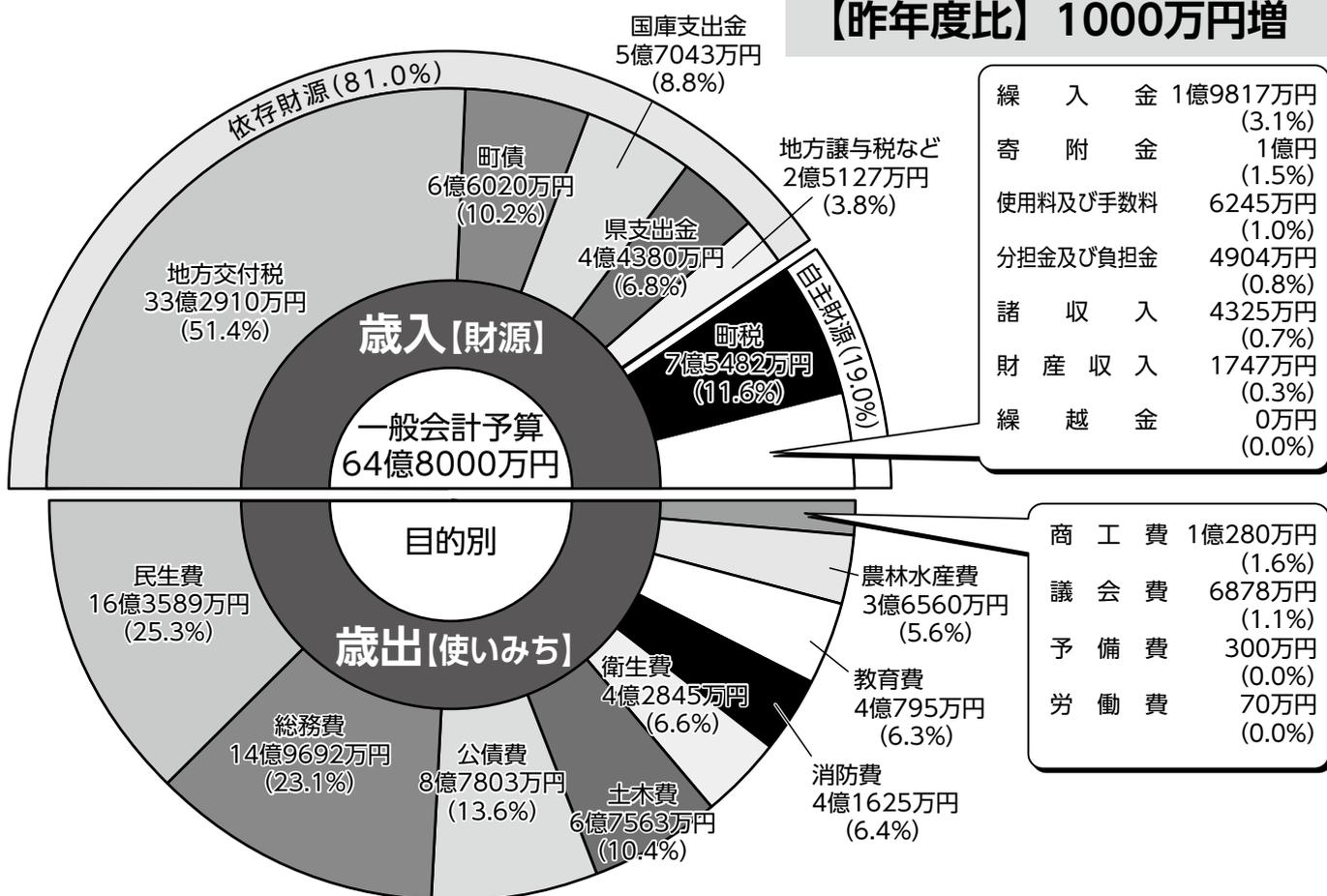
消防ポンプ車両更新事業
費9196万円のうち一般
会計から7933万円を負担金として支出します。
更新に伴い、救助資材の積載及び消火効率の向上により
ポンプ車機能が強化されます。（写真は更新前車両）



平成30年度
予算

新しいまちづくり 一般会計 64億8000万円

【昨年度比】1000万円増



平成30年度 一般会計・特別会計・企業会計予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)	
一般会計	64億8000万円	64億7000万円	1000万円	0.2 ↑	
特別会計	国民健康保険事業	16億800万円	19億1157万円	-3億357万円	-15.9 ↓
	農業集落排水事業	1億3810万円	1億3208万円	602万円	4.6 ↑
	小規模水道事業	691万円	482万円	209万円	43.4 ↑
	公共下水道事業	3億8944万円	3億6711万円	2233万円	6.1 ↑
	墓地公園事業	20万円	20万円	0	0.0 ー
	介護保険事業	15億251万円	14億8470万円	1781万円	1.2 ↑
	後期高齢者医療	1億2450万円	1億2246万円	204万円	1.7 ↑
	水産業振興事業	2989万円	2704万円	285万円	10.5 ↑
【企業会計】水道事業	4億4513万円	4億2206万円	2307万円	5.5 ↑	
全合計	107億2468万円	109億4204万円	-2億1736万円	-2.0 ↓	

※予算額は、万円単位（四捨五入）で表示しています

平成30年
第1回
定例会

会期
3月2日～15日

12施設の指定管理者を指定 (新規1社・更新7団体等)

効率的な施設運営を期待



あじバス早朝便を利用する高校生

あじバス運行長平線
「和開開拓―鱒ヶ沢駅前
間」区間の早朝便が4月
から運行開始されます
早朝便は、朝7時台の
JR鉄道への接続を目的
として運行されます。

【第1回定例会で決まった主なこと】

平成30年第1回定例会が3月2日から15日まで開かれ、開会初日に平田町長が新年度の施政方針を述べました。
本定例会では、平成30年度予算、介護保険料条例の改正などの議案等42件を各常任委員会、予算特別委員会（一般会計予算）に付託し審議しました。12日の一般質問では、長谷川統一議員がまちづくりの展開について平田町長に問いました。（質問内容は6ページに掲載しています）
最終日には、町提出の教育長人事案、議員発議として議員報酬額改正条例案（関連記事7ページ）が追加上程され、本会議において上程議案等44件は全て原案どおり議決されました。

車両は安心おでかけバスを利用するため、従来の安心お出かけバス運行に小型乗合定期バス運行が追加され、新たに町自家用有償旅客運送条例が制定されました。

平成30年度分から介護保険料が改定されます

町介護保険事業計画の見直しに伴い、平成30年度から平成32年度までの介護保険料が改定されます。

保険料額は被保険者の所得状況により9段階に区分され、それぞれ年額600円から2100円の増額となります。

各施設の指定管理者が指定されました

〈指定期間〉3年間

平成30年4月1日から平成33年3月31日まで

■長平青少年旅行村

【新規】青森リゾート株式会社
管理料 390万円
(年間130万円)

■白神キャンプ場

【更新】熊の湯温泉
管理料 270万円
(年間90万円)

■白神の森遊山道

【更新】一般社団法人
鱒ヶ沢町観光協会
管理料 600万円
(年間200万円)

■海の駅わんど

【更新】一般社団法人
鱒ヶ沢町観光協会
管理料 600万円
(年間200万円)

■墓地公園

【更新】みちのく建物管
理株式会社
管理料 270万円
(年間90万円)

■総合保健福祉センター

【更新】社会福祉法人
鱒ヶ沢町社会福祉協議会
管理料 1950万円
(年間650万円)

■鳴沢野球場

【更新】あじがさわジュニアベースボールクラブ
管理料 1950万円
(年間650万円)

■ビームライフル射撃場

【更新】青森県ライフル射撃協会
管理料 270万円
(年間90万円)

■大高山ライフル射撃場

【更新】青森県ライフル射撃協会
管理料 270万円
(年間90万円)

■大高山総合公園

【更新】みちのく建物管
理株式会社
管理料 600万円
(年間200万円)

■鱒ヶ沢町斎場

【更新】みちのく建物管
理株式会社
管理料 600万円
(年間200万円)

■墓地公園

【更新】みちのく建物管
理株式会社
管理料 600万円
(年間200万円)

理株式会社

■鱒ヶ沢相撲場

【更新】鱒ヶ沢町相撲協
会

▼人事案件

浜横沢財産区管理会管理
委員の選任

任期満了に伴い、管理
委員6名を選任するもの。

- 長谷川 武 氏(再任)
- 石井 武則 氏(再任)
- 本間 正三 氏(再任)
- 佐藤 清美 氏(再任)
- 齋藤 武則 氏(新任)
- 佐藤 浩 氏(新任)

【任期】平成30年4月28
日から4年

新庁舎建設等のための基
金が新設されます

新庁舎建設の整備に要
する経費の財源に充てる
ため、町公共施設等整備
基金を設置。

今後、計画的な財源を
確保するため、基金を積
み立てていきます。



かとう たかゆき
加藤 隆之 副町長

第1回臨時会 2月16日

副町長の
選任に同意

【任期】平成30年3月1日から

▼副町長の選任
新たに副町長として加藤隆之氏（56歳）を選任するもの。
〈主な経歴〉町観光商工課長、農林水産課長、健康ほけん課長、つがる西北五広域連合鯉ヶ沢病院事務長（派遣）



あひこ まさひろ
阿彦 正弘 教育長

追加議案
▼人事案件
教育長の任命
同意
新教育委員会制度に基づく教育長として阿彦正弘氏（60歳）を任命するもの。

※これまでは、町長が議会に同意を求め教育委員会に任命し、教育委員の中から教育長を選任していましたが、新制度では町長が議会に同意を求め、教育長を任命します。

〈主な経歴〉町立鳴沢小学校校長（2年間）、つがる市向陽小学校校長、五所川原小学校校長（定年退職）。五所川原市在住。
【任期】平成30年4月1日から3年間

▼意見書案第2号
地域別最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制

【提出先】内閣総理大臣、内閣官房長官、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

これらの実現のために関係予算を大幅に増額し、施策の重要な担い手の地方公共団体への財政的支援を国に対し求めるもの。

▼意見書案第1号
障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

【内容】現行の障害福祉政策では、多くの障害児者が家族の介護に依存した生活を余儀なくされている。緊急時や同性介護に対応するヘルパー等の福祉人材確保をすること。また、緊急度の高い入所待機者のショートステイの長期化等の現状打開のため、入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。

【内容】現行の障害福祉政策では、多くの障害児者が家族の介護に依存した生活を余儀なくされている。緊急時や同性介護に対応するヘルパー等の福祉人材確保をすること。また、緊急度の高い入所待機者のショートステイの長期化等の現状打開のため、入所機能を備えた地域生活支援拠点を国の責任で整備すること。

【内容】青森県と東京都との地域別最低賃金時間額が220円にまで広がり、この格差が労働力の流出を招き、高齢化と地域経済を疲弊させる要因となっている。地域経済を活性化させるうえで、地域間格差の是正と最低賃金の大幅な引き上げが必要である。

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、中央最低賃金審議会会長

よって、地域別最低賃金を大幅に上げること及び全国一律最低賃金制度を展望した地域間格差縮小の施策を推進すること、中小企業の負担軽減の支援策を拡充することを求めるもの。

あわせて社会保険料負担減免など中小企業への経営支援を拡充させることで、最低賃金引き上げの全体的な合意が形成されると思われる。

【内容】青森県と東京都との地域別最低賃金時間額が220円にまで広がり、この格差が労働力の流出を招き、高齢化と地域経済を疲弊させる要因となっている。地域経済を活性化させるうえで、地域間格差の是正と最低賃金の大幅な引き上げが必要である。

【内容】青森県と東京都との地域別最低賃金時間額が220円にまで広がり、この格差が労働力の流出を招き、高齢化と地域経済を疲弊させる要因となっている。地域経済を活性化させるうえで、地域間格差の是正と最低賃金の大幅な引き上げが必要である。

【内容】青森県と東京都との地域別最低賃金時間額が220円にまで広がり、この格差が労働力の流出を招き、高齢化と地域経済を疲弊させる要因となっている。地域経済を活性化させるうえで、地域間格差の是正と最低賃金の大幅な引き上げが必要である。

【内容】青森県と東京都との地域別最低賃金時間額が220円にまで広がり、この格差が労働力の流出を招き、高齢化と地域経済を疲弊させる要因となっている。地域経済を活性化させるうえで、地域間格差の是正と最低賃金の大幅な引き上げが必要である。



第1回定例会の一般質問傍聴者は15人でした

議会の傍聴にお越しく下さい

受付で傍聴券を
交付します



議場 傍聴席へ



3階議会事務局で受付

▼6月8日（金）
開会予定です
《開会後の日程は次のとおりです》
▽6月11日（月）
一般質問
▽6月12日（火）
総括質疑、討論
採決、閉会

第2回定例会の予定

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

一般質問



長谷川統一議員

3月定例会では、一人の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し、町長の考えや町の政策方針を問います。

まちづくりの目標達成をどのように 答へ目標達成の体制づくりに努める

まちづくりの目標達成は

問・平成30年度の施政方針において、まちづくりの目標として3つの目標を掲げているが、この目標達成のためにどのような進め方を考えているかお答え願います。

答弁・平田町長
3つの目標については、これからの鱒ヶ沢町の向かっていくべき姿を踏まえたまちづくりの基本となるものです。

1つ目の目標である、誇りと自信を持てるまち、自慢できるまちについては、まちづくりの根幹をなすのは人であり、人がまちづくりの原動力とな

るので、まちを支える人材づくりに力を入れたいと考えています。

2つ目の目標である、たくさんの人々が訪れたいと思う魅力的なまちについては、多くの人たちに鱒ヶ沢町においていただくためには、魅力的な町でなければなりません。

このため、町の歴史、文化、自然、食を活用して、一年を通じて人を呼び込める魅力的なまちづくりを進めたいと考えています。

3つ目の目標である、この町に住んでみたいと思う生活しやすいまちについては、定住促進を図るため、医療、介護、福祉、子育て、生活環境の整備など、人々が安心して

て生活できる町を目指していきたいと考えています。

そして、これらの3つの目標を達成するため、政策、施策を展開し、体制づくりに努めます。

楽天との連携は

問・楽天と青森銀行と鱒ヶ沢町は、三者包括連携協定を結び、地域経済の活性化を目指しているが、今後はどのような展開を考えているかお答え願います。

答弁・平田町長
楽天とは、インターネットサービスを通じた地域活性化の取り組みとして、楽天ふるさと納税

への参画、鱒ヶ沢高校での楽天IT学校の開催など、鱒ヶ沢町の認知度向上にもつながるタウンプロモーションとして成果を上げていると思っています。

今後は、楽天の有する様々なネットワーク、情報、ノウハウを十分活用しながら、ITを通じて町全体の活性化につなげていければと思っています。

たとえば、役場内での仕事の効率化の一環としての書類のペーパーレス化やコンビニエンスストア等における証明書などの交付も含めて、町全体のIT化を推進していきたいと考えています。

成を目的とした事業でもあると認識しています。29年度、小中学生を対象とした※プログラミングのワークショップを試験的に行っていますが、今後は、鱒ヶ沢高校のみならず、小中学生にもITを活用した体験的な学習を新たな教育・育成プログラムとして検討、推進していきたいと考えています。

問・鱒ヶ沢高校における楽天IT学校の開催について話がありました。これだけで終わるとい

答弁・平田町長

現在、鱒ヶ沢高校で行っている楽天IT学校というのは、ネット販売を通じて鱒ヶ沢町の魅力を知ってもらう、人材育



楽天社員が講師として開催したプログラミング教室

成を目的とした事業でもあると認識しています。29年度、小中学生を対象とした※プログラミングのワークショップを試験的に行っていますが、今後は、鱒ヶ沢高校のみならず、小中学生にもITを活用した体験的な学習を新たな教育・育成プログラムとして検討、推進していきたいと考えています。

意見・今後の楽天との連携、かわり方で、町が大きく発展する可能性があると思います。

ぜひ、積極的な取り組みをお願いします。

※プログラミングとは…コンピュータに対する命令を実行させる作業指示の順序だてたものを作成すること。

報酬月額が変わります

議長 199,000円⇒245,000円へ
 副議長 171,000円⇒210,000円へ
 議員 164,000円⇒200,000円へ
 ※この引き上げにより予算額は、昨年度比約870万円の増額になります。

議員報酬額を改正 月額20万円へ可決

平成30年4月1日から引き上げ



第1回定例会最終日の3月15日に、議員発議として「鯉ヶ沢町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の改正案が上程され、賛否討論が行われました。採決（議長を除く）の結果、賛成7人、反対4人となり議員報酬額の引き上げは可決されました。

今回の改正案において趣旨説明、賛成討論・反対討論を行った議員及び採決の結果は次のとおりです。

趣旨説明

齋藤 孝夫議員



活発な議員活動のため報酬額の引き上げを

町は、国の政策見通しの甘さにより地方にそのしわ寄せが来て、町財政悪化が進み再建団体に落ちる寸前でした。これまで議員報酬の自主削減・議員期末手当の全額支給停止など行っ

きたほか、平成24年度には一般議員の報酬月額を21万4000円から16万4000円に大幅に引き下げるなどし、財政再建に取り組んできました。

現在の報酬月額は県内30町村中、最下位の額となつていますが、町財政がある程度回復した今、極端に低い現在の報酬月額を20万円に引き上げるべきと考えるものであります。

この20万円の報酬月額も県内30町村中、下から7番目に低い額であります。安定した活発な議員活動をするためには最低限必要であると感じ、この発議案を提出するものがあります。

反対討論

坂牛 淳治議員



報酬額の引き上げは時期尚早

現在の町財政について町から説明を受けましたが、ある程度は回復したとはいえ、まだまだ予断を許さないことでもあります。

議員報酬の適正な支給の計算方法もあるようですが、いま我が町の状況を考えて、議員報酬を思うとき、議員報酬アップは時期尚早であり、また、町民の理解も得られないと思います。よって、反対いたします。

賛成討論

菊谷 忠光議員



議会活性化に対する尽力を要望し、引き上げへ

町財政を立て直すため自主的に報酬額を減額し5年が経過した今、財政的にはだいぶ回復してきたと思います。

今後、人口減による地方交付税の減少や新庁舎建設関連経費計上など、財政的に予断を許さない状況にあります。①と②にも減額に協力してきた町三役並びに職員給与額の回復、②町税の当初予算対比増及びふるさと納税による増進、③県内町村議会の最低報酬月額、以上この三点からも全額を戻すのではなく、元の約10%を減額した額、20万円とすることに賛成す

るものです。

今回の改正にあたり、今以上に議会として活性化しなければなりません。議員個人の活動は各々してはいますが、議会としての活動は住民にもいまひとつ認識されていません。議員のなり手不足の問題においても、住民に対し認知度を上げ、議会制度の必要性を理解してもらうこと。また、議員各位が大義をもって議会改革に取り組み、よりよい議会民主主義を継続させるため、より一層努力を尽くすことを切に要望し、賛成討論とします。

採決(起立)

【賛成者】菊谷忠光議員、長谷川統一議員、渋谷悦男議員、神孝議員、齋藤孝夫議員、鶴田悦子議員、今勝義議員（起立7人）

【反対者】坂牛淳治議員、東條一彦議員、新保勝敏議員、世永富也議員（以上4人）

特集 ～まち再発見～

鯨ヶ沢町に戻ってきて Vol. 5

温かく迎えてくれたふるさと
自分の町をなくしたくない



舞戸町(岩谷)
山本 文子さん (78歳)

漁師町出身(旧姓 敷浪)。昨年、約50年住んだ埼玉県からふるさと鯨ヶ沢町へ戻る。歩くことが好き。

特集「まち再発見」5回目の今回は、昨年埼玉県からふるさと鯨ヶ沢町に戻られた山本文子さんにお話しを聞きました。

山本さんは、東京鯨ヶ沢会副会長も務め、長くふるさと鯨ヶ沢町を応援されてきました。

聞き手は、今勝義、菊谷忠光広報委員です。

Q 鯨ヶ沢町に戻られたのは。

A 古いけど家があり、お墓がありました。

私の兄弟や親戚、中高の同級生も多くいて、温かく迎えてくれました。

家は、リフォームをして住んでいます。

一人で戻ってきましたが、毎日が楽しいです。

Q 町に戻ってきて、感じることは。

A 交通は不便ですが、食べ物はお魚がおいしいし、野菜はわんどで買います。

おしんこもおいしいです。ただ、帰省のたびに町がさびれ、電車から海が見えると、町に帰ってきたという気持ちになります。

駅に降りるとさびしいと感じていました。

お年寄りが多く、若い人がいないから子どももいない。

特に、お年寄りが集まる場所がないと感じます。

手弁当や飲み物を持って一日遊べる場所が町に一、二カ所あってもいいと思います。

Q 町に対して期待することは。

A 町に戻ってきてから一年も経たず、日が浅いのですが、町のことを考えると、若い人が住み着いて、人口がふえてくれればと思います。

新聞で、2045年には町推計人口が3959人という記事を見ました。

町長にトップセールスで大企業を誘致してもらい、若い人が住んで子どもが巣立つような町にしてもらいたいです。

このままだと町がなくなってしまう。自分の町はなくなしたくないですね。

鯨ヶ沢町は自然がいっぱいあって、外に宣伝すればお客さんが来る町です。

日本遺産に認定された当町などに対し、ガイドの人材育成が必要と指摘された新聞記事も見ました。

年をとっても自分のふるさとを良くしたいという気持ちがあります。

社協のボランティア講習も受けました。

埼玉では、子どもが熱を出した時に、働く母親の代わりに面倒を見るボランティアをしていますが、何か町のお手伝いできたと思います。

Q 今後、挑戦したいことは。

A 何でも挑戦したいです。シルバーのスイミングスクールにも入りたいです。

Q 観光ボランティアガイドはどうですか。

A やってみたいです。話すのは好きです。

鯨ヶ沢町は歴史が古く、

小さい町でもお寺がたくさんあります。お寺にご協力いただいて貴重な掛け軸や鬼子母神様、庭の見学などお寺巡りは、お年寄りも喜んで参加されると思います。

半日かけて巡り、ワンコインのお昼を食べて話しをする。実施してほしいなと思います。

また、歩くのが好きで大高山総合公園にも行きますが、桜が見事だと思います。

お年寄りなど車がないと行けない所なので、あじバスが運行され、お弁当を持って遊びに行けるようにしてもらいたい。

たくさんの方に桜を見てもらいたいですね。



大高山総合公園の芝生広場